

会派政務調査活動（行政視察）報告書

(総括)

会派名	新政会
会派の代表者名	橋本五郎
視察(調査)期日	平成27年11月1日(日)～平成27年11月3日(火)
視察(調査)先	1. 山梨県北杜市(北杜サト太陽光発電所) 2. 山梨県南アルプス市(完熟農園)
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と選定理由等)	1. 再生可能エネルギーの普及促進とその効果と合せ効率的な発電と経営又、施設運営について。 2. 地域活性化特区として(競争力と持続力ある交流6次化モデルの構築特区)として経営と運営全般について ・大仙市の現在の再生可能エネルギーは(メガソーラー太陽光発電)をおもに各小・中学校、避難所、公共施設等に設置しており、今回西北強道上一合へメガソーラーを市で設置した、今後の経営と運営(維持管理)等についてと、大仙市の民間等の農業の6次化産業についての設立と運営等についてをお尋ねするために視察を形修を致しました。
視察(調査)の行程	
視察(調査)への参加議員名	・橋本五郎・渡辺秀俊・佐藤清吉 ・茂木隆・小山緑郎・小松栄治
視察(調査)概要	・新政会は平成27年11月1日(日)～平成27年11月3日(火)の3日間に渡り山梨県北杜市に有ります(北杜サト太陽光発電所)と山梨県南アルプス市の完熟農園を視察してまいりました。まず、北杜市は人口48,760人で面積602.89km ² で新年度の一般会計予算は286億345万円であります。山梨県県の北西に位置しており、山々に囲まれた山岳景観と名水百選を3ヶ所所有する豊かな水と綺麗な空気のまじり山紫水明の地です。さら今回の視察であります



視察(調査)の成果
と本市に反映でき
る事項或いは反映
させたい事項につ
いて

そ の 他

(会派としての総
括的意見、上記成
果への今後の取り
組み等)

北杜サイト太陽光発電所ではありますが平成18年度
から平成22年度の5ヶ年において北杜市と(株)NTTファミ
リーズがNEDO(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)の
委託事業として国家プロジェクト外ではあるが大規模電力供給用
太陽光発電系統安定化等実証研究を行った世界に
類をみない希有な施設であります。本実証研究では66kV特
別高圧系統への供給実験や日本のパナソニック・三菱電機・京セラ
又、外国の韓国・アメリカ・ドイツ・イギリス・中国等の世界9ヶ国又7種類の
太陽電池モジュールの評価等の研究開発、有支州新聞に
実用性の検証をしております。その後平成23年4月から施設
を譲渡を受け、北杜市営「北杜サイト太陽光発電所」として
スタートしており、21年には経済産業省の新エネルギー選1にも
認定されております。現在は、3つの公共施設へ40KWの大陽
光発電システムを設置し、11中学校等22校へ1MW太陽
光発電システムを設置又、資源エネルギー庁次世代エネル
ギーパークに認定されております。北杜市は年平均日照
時間は2,300時間であり日本一です。売電は東京電力
と丸紅(株)へおこなっており、1KWあたり40円であり、一年間の
収入は1坪200万円とのことです。また、事業費は30億円
かかるとのことです。なお、大田市でも現在おこな
太陽光発電については各期間の日照の問題や雪対策
が良いと思います。今後再生可能エネルギーの発電と蓄電
にかいてはどの子に効率的におこなうエネルギーを十分に
蓄えよと共に、管理と合せ電力を高効率に東北電力
ばかりでなく、企業等に売電が今後の課題である。